



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位
大垣市政・経済記者クラブ同時配布

令和5年4月7日（金）岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
農業経営課 担い手対策室	就農研修係	勝山・小枝	TEL 0584-53-0175
	就農支援係	稲垣・鈴木	内線 4090 直通 058-272-8421 FAX 058-278-2686

令和5年度 岐阜県就農支援センター 研修者(第10期生)入所式について

県は、将来にわたって持続可能な強い農業づくりに向けて、担い手の育成・確保を推進しております。

「岐阜県就農支援センター」^{※1}では、県が開発した「トマト独立ポット耕栽培システム」^{※2}を活用した研修を行っており、これまでに26名の研修修了者が県内で就農しています。

このたび、同センターの令和5年度研修者（第10期生）の入所式を下記のとおり開催します。

記

- 日時 令和5年4月13日（木） 14:00～14:40
- 場所 岐阜県就農支援センター 講義室
（海津市海津町平原1165 TEL:0584-53-0175）
- 研修者 3名（県内出身者2名、県外出身者1名）
- 出席予定者 約20名
研修者、来賓、関係機関・団体（行政、JA等）、県等
- 式次第
（1）開式
（2）主催者あいさつ
県農政部長 足立 葉子^{あだち ようこ}
（3）研修者（第10期生）紹介
（4）記念品贈呈
（5）第9期生からの激励のことば
（6）第10期生から研修・就農に向けた決意、抱負
（7）来賓祝辞
県議会議員 森 正弘^{もり まさひろ} 氏
（8）閉式

※1 岐阜県就農支援センターの概要

- ◇ 住所／海津市海津町平原 1165
- ◇ 敷地面積／23,343 m²
- ◇ 施設規模・種類／
 - [生産実習施設]
 - ポット耕栽培ハウス：3,456 m² (1,728 m²×2棟)
 - スマート農業モデル温室 (432 m²)
 - [事務・研修棟]
 - 事務室、研修室、検査診断室 等
 - [作業棟]
 - 出荷調整室、車庫、農薬等保管庫



就農支援センター 事務・研修棟

※2 トマト独立ポット耕栽培システムの概要

- ◇ 県農業技術センターが開発した技術
- ◇ 1株1株を独立したポットで、自動制御の養液供給装置によりトマトを生産
- ◇ 通常の土耕栽培に比べ高収量のため、経営の安定化を図ることが可能 (10a 当たり)

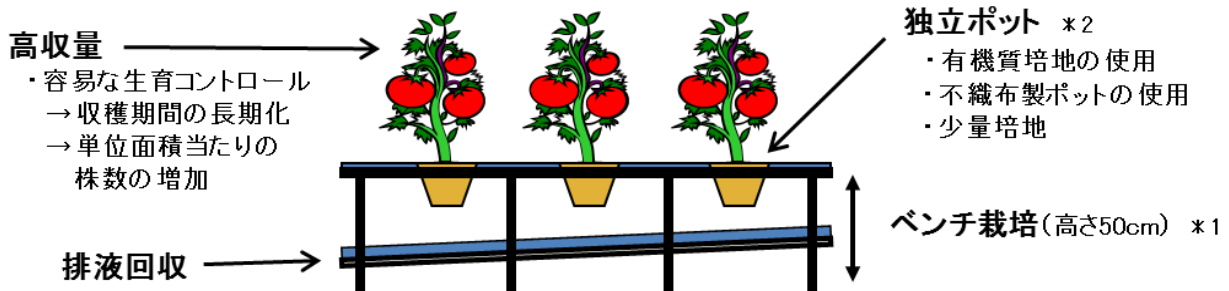
	栽植株数	目標収穫量
独立ポット耕	2,500 株	30 t
モデル温室	2,900 株	34 t

- ◇ 栽培方法がマニュアル化されているため、栽培技術の習得が容易



就農支援センター 研修ハウスの様子

《システムイメージ図》



人に優しい

- ・接木栽培の必要がない
- ・収穫位置が高くなり、作業姿勢が改善される

環境に優しい

- ・培地量が少なく省資源である (1.2L/株)
- ・肥料の流出が少ない
- ・土壌消毒の必要がない

トマトに優しい

- ・病原菌の侵入を抑制できる *1
- ・独立ポットにより、病害の拡大を抑制できる *2
- ・培地の温度を調整できる *1-2